

43 開成学校官費生半途退学者の学費償還に付伺

〔明治七年四月十五日〕

生徒ニ官費ヲ給附スルハ将来成業ノ目的アルモノヲシテ其学業ヲ成達セシメ以国家ノ採択ニ充ンノ御旨趣ニ付生徒タルモノ素ヨリ上意ヲ奉体シ勤メテ知識ヲ拡充シ學術ヲ研究シ後來国家ヲ裨益シ上意ニ奉酬スヘキ固ヨリ言ヲ俟ス然ルニ夥多生徒ノ中ニハ上意ノアル所ヲ誤認シ膏ニ其材ノ俊秀与學術之優等トヲ以需メスシテ官費生タルヲ得ルト暗ニ自負スルモノ之レアルヘク其故ハ学力未タ半途ナラサルニ往々退学ヲ請フモノ其辞多クハ父母ノ疾病或ハ貧窶家族ヲ扶助スル等ニ托シ其実ハ僅ニ洋学ヲ解シ得レハ官ニ就キ易キヲ以方向ヲ誤ルモノアラン実ニ長大息ノ極ト云フヘキナリ目今其根抵スル処ヲ視察スルニ客歳貸費生ヲ廢シ官費生トナスニ拗ルモノカ如何トナレハ貸費生タルヤ半途退学スレハ其受ル所ノ金額ヲ償還スル難キヲ以テ刻苦勉勵遂ニ敏達スルニ至ル官費生ハ否ラス貧富ヲ論セス学資皆之レヲ官ニ仰クニヨリ其退学スルモ償還ノ事ナキヲ以心爰ニ安ンシ其寢食ヲ忘レ筋骨ヲ勞シテ学業ノ蘊奥ヲ探リ技術之精妙ヲ究メントスルモノ却テ退学ヲ要スルニ至リ仮令数千ノ生徒ヲ教養スルモ其成達スルモノ屈指ニ過サルヘシ因テハ半途退学ノモノハ従前資給スル処ノ金額償還ノ方法ヲ立左案ノ如ク御達し相成候ハ、生

徒退校ヲ請フモノナク學術進脩遂ニ国家ノ大器トナルモノ輩出スヘシ前条一日モ難闕景況ニ付迅速御評決相成度御達案相添此段相伺候也

明治七年四月十五日

開成学校長 辻 新次

木戸文部卿殿

(朱書)

〔書面伺之趣ハ官費生規則第十四章第十五章改正ヲ以相達候事〕

(朱書)

〔明治七年四月廿三日〕 印

(案文欠)

『含要類纂』卷之六拾五、明治七年四月ヨリ八月ニ至ル、経伺之部、㊦